



リンゴ病。ほほが赤くなる 妊娠中の感染にご用心

平成 30 年 6 月 20 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 24 週分・6 月 11 日～6 月 17 日)

《 インフォメーション 》

●伝染性紅斑（リンゴ病）

今週、伝染性紅斑の報告数が定点医療機関あたり 0.21 人となり、先週（0.45 人）より減少しました。伝染性紅斑の流行には年により周期があり、例年、冬から 7 月上旬にかけて増加し、9 月頃から減少する季節性がありますが、流行が少ない年には変動が少なくなります。最近では平成 28 年に報告数が多くなりました（図参照）。

年齢別では、幼児や学童の報告数が多く 6 歳までで、全体の 8 割以上を占めます。

伝染性紅斑は、パルボウイルス B19 を原因とする感染症で、患者の咳やくしゃみ、またはウイルスが付着した手などを介して感染します。小児の場合、潜伏期 10～20 日後に両方の頬がリンゴの様に赤くなること（紅斑）が多く、そのため、伝染性紅斑は別名「リンゴ病」とも呼ばれます。紅斑は手足にもでき、全身に広がることもあります。紅斑は約 1 週間で消えますが、長引いたり、一度消えた紅斑が再度現れたりする場合があります。**紅斑が現れる 1 週間～10 日前に微熱や風邪の様な症状がみられますが、この時が最も感染力が強い時期です。**一方、紅斑が出てきたときには、ウイルス量は少なく感染力がほとんどありません。

伝染性紅斑は、大人が感染することもあります。子どものように頬が赤くなることは少なく、手足の腫れや関節痛、関節の腫れなどが強く現れます。妊婦が感染すると、胎児に異常が起こり流産等の原因になることがあります。妊婦は風邪症状のある患者との接触をなるべく避け、手洗いなどの予防を心がけましょう。

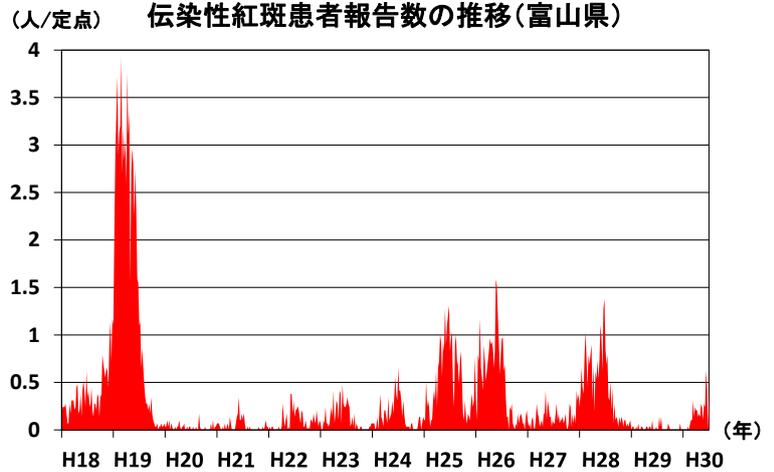
《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 2 件（①②ともに 70 歳代、男性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件（10 歳未満、女性、O26、型不明）
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 2 件（①第 23 週診断分：70 歳代、男性
②50 歳代、女性）
- 播種性クリプトコックス症 1 件（第 23 週診断分：50 歳代、女性）

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	6.21	7.03	↓
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.62	1.97	↓
3 位	咽頭結膜熱	0.83	0.90	↓
4 位	突発性発しん	0.52	0.45	↑
5 位	流行性角結膜炎	0.29	0.00	↑
6 位	R S ウイルス感染症	0.24	0.38	↓
	水痘	0.24	0.41	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第24週 平成30年6月11日～平成30年6月17日）

分類	疾患	今週報告分（第24週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1	1		2	4	7	29	10	35	85
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1			1		4	5
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症							1	1	2	2	17	23
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1		5	6
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							1					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							3		3	2	3	11
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症				1		1	2	2	4	4	12	24
	水痘（入院例）							1		1		1	3
	梅毒									1		4	5
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											1	1
	風しん										1		1
定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ	2				1	3	2,224	1,824	3,485	2,441	5,335	15,309
		0.29				0.06	0.06						
	RSウイルス感染症	1		1		5	7	34	20	49	24	212	339
		0.25		0.13		0.50	0.24						
	咽頭結膜熱	6	1	11		6	24	138	49	191	20	238	636
		1.50	0.33	1.38		0.60	0.83						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	3	12	8	21	47	94	77	397	172	501	1,241
		0.75	1.00	1.50	2.00	2.10	1.62						
	感染性胃腸炎	24	31	24	4	97	180	646	455	723	154	1,814	3,792
		6.00	10.33	3.00	1.00	9.70	6.21						
	水痘	2		4		1	7	10	3	82	48	76	219
		0.50		0.50		0.10	0.24						
	手足口病					3	3	1	8	20	12	94	135
						0.30	0.10						
	伝染性紅斑			4		2	6	3	1	67	34	19	124
				0.50		0.20	0.21						
	突発性発しん	1		6	1	7	15	35	24	99	28	78	264
		0.25		0.75	0.25	0.70	0.52						
	ヘルパンギーナ							1	1	1	1	2	6
	流行性耳下腺炎			2		1	3	2	5	12	3	16	38
				0.25		0.10	0.10						
	急性出血性結膜炎										13		13
流行性角結膜炎	1		1			2	2	11	4	1	3	21	
	1.00		0.50			0.29							
細菌性髄膜炎											3	3	
マイコプラズマ肺炎								2	4	3	7	16	
クラミジア肺炎					1	1				1	1	2	
					1.00	0.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		2	2	6	13	
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1	51	55	39	150	94	389	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。